

- 02 平成三十一年  
新年のご挨拶
- 04 リレーコラム  
サンフレッチェ広島F.C ユース監督  
沢田 謙太郎さん
- 05 目次  
イベント情報
- 06 行政情報
- 08 人輝く
- 09 市長コラム
- 10 お太助ワゴン便利活用術
- 12 健康いいカラダ
- 13 いきいき介護  
国保だより
- 14 げんきな親子
- 15 子育てサークルに行ってみよう!
- 16 としょもつと
- 18 HOTな話題
- 20 歴史紀行
- 21 国民年金のあれこれ  
違う文化から日本を考える
- 22 救急時 こんな時はどうしたらいいの?
- 23 消防  
警察
- 24 トピックス/募集
- 26 およこび・おくやみ
- 27 1月の相談
- 28 安芸高田のアイドル



〈今月の表紙〉  
「お太助ワゴンを利用する高校生」

本庁・支所連絡先

安芸高田市 ☎ お太助フォン 42-2111 (代)  
八千代支所 ☎ お太助フォン 52-2111  
美土里支所 ☎ お太助フォン 54-0311  
高宮支所 ☎ お太助フォン 57-0311  
甲田支所 ☎ お太助フォン 45-4111  
向原支所 ☎ お太助フォン 46-3111

市役所開庁時間 8:30~17:15  
(土曜・日曜日、祝日、年末年始は閉庁)

安芸高田市ホームページ  
<http://www.akitakata.jp>



1月のイベント情報

今月開催の市内イベント情報をお知らせします

1月6日 消防出初式

☎安芸高田消防ヘリポート (吉田町相合)  
荒天時: 吉田運動公園アリーナ  
☎9時30分開式  
☎危機管理課 消防関係  
☎お太助フォン42-5625

新春恒例「安芸高田市消防出初式」。市内消防団員が集結し、分列行進などの披露、辞令交付、表彰、一斉放水なども行われます。市消防の勇姿をご覧ください。



1月27日 文化財防火デー防火訓練

☎八幡神社及び付近一帯 (美土里町横田)  
☎10時  
☎消防署 警防課  
☎お太助フォン42-3952

「文化財防火デー」に合わせて、毎年一つの文化財を選定し消防署、消防団、地域の団体が協力して行う防火訓練。今年度は八幡神社で実施します。



1月27日 新春高宮  
子ども神楽発表大会

☎高宮田園パラッツォ (高宮町佐々部)  
☎13時開演 (予定)  
☎高宮田園パラッツォ  
☎お太助フォン57-1803

子どもの健全育成と、伝統芸能を守り継ぐことを目的に、高宮町内の子ども神楽団が日々の練習成果を発表。奏楽の音に合わせて、小さな演者たちの激しい舞が繰り広げられます。



3月11日まで 八千代の丘美術館TOKUBETU企画展  
HIROSHIMA「大成大輔・沼本秀昭・才田博之」展

☎八千代の丘美術館 (八千代町勝田) ※火曜日休館  
☎一般300円・65歳以上200円・小中学生200円・障害者手帳をお持ちの方 (介助者1名を含む) 無料  
☎八千代の丘美術館 ☎お太助フォン52-3050

広島で活躍する若手作家による現代的な表現の作品展を開催。(G棟)大成 大輔 (H棟)沼本 秀昭 (I棟)才田 博之

■ワークショップ ※要申込 ☎八千代の丘美術館

・『八千代の風景を水彩で描く』

☎講師 大成 大輔 ☎2月28日(木)10時~12時

☎八千代の丘美術館研修室 ☎無料(入館料は別途必要)

☎定員15名(高校生以上)※定員になり次第締切

☎筆記用具、F6号程度のスケッチブックをご用意ください。

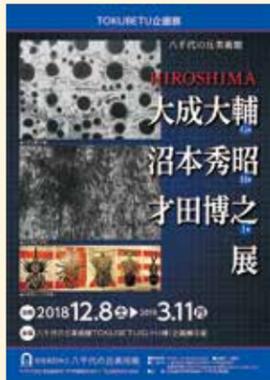
・『オリジナル缶バッジを作ろう』

☎講師 才田 博之 ☎3月10日(日)13時30分~15時30分

☎八千代の丘美術館研修室 ☎無料(入館料は別途必要)

☎定員20名(小学生~大人、低学年は保護者同伴)※定員になり次第締切

☎写真(バッジに使用したい物)をご用意ください。



サッカー指導者

安芸高田市で、夢を抱いて様々な活動に取り組み挑戦者たち。彼らを突き動かす原動力とその熱い想いに迫ります。

卒業していった選手の活躍が指導者として、何よりの幸せ

サンフレッチェ広島F.C ユース監督 沢田 謙太郎さん



選手が大人になったら結婚式に呼んでほしい



図書館や書店で本を見て回るのが大好き。シーズンオフには幅広いジャンルの本を読みあさります。  
選手と多くの時間を過ごす三矢寮。指導者としてのイロハをたたき込まれた場所でもあります。  
選手時代から通い続けている「大ちゃん」のお好み焼。最近は辛麺のお好み焼にハマっています。

寮で暮らす選手たちの監督であり親代わりでもある  
サンフレッチェ広島でユースの監督を務めている沢田さんは、神奈川県出身の48歳。地元藤沢西高校から中央大学を経て柏レイソルに入団し、1999年にサンフレッチェ広島に移籍しました。現役を引退後はジュニアユースのコーチや監督に就任し、指導者としての道を歩んでいます。「選手は全員吉田町にある三矢寮から学校に通っています。私も週に1、2回は寮に宿泊して、ご飯やお風呂など日常生活を共にします。日常生活が乱れているとピッチ上でもいいプレーはできません。普段の様子が見られることは、指導者として恵まれています」と沢田監督は話します。厳しいプロの世界では、技術だけでなく心の成長も大きな課題。「プロになるためには自分自身の強い思いが必要。個々の性格を見極めながら、いかに個々を育てられるかが指導者の腕の見せ所です」と目を輝かせます。「ここで成長した選手たちがトップチームでサンフレッチェ広島を背負って立つ選手になってくれるのがベストですが、違うチーム、違う分野であっても、下を向くことなく立ち向かう姿を忘れずに活躍してくれることを願っています。濃密な時間を過ごして、努力してきた子たち。たいていのことでは折れません」と選手たちへエールを贈りました。取材時、チームは1年を通して戦うリーグ戦の終盤。優勝することを願って、『がんばれサンフレッチェ広島ユース!』